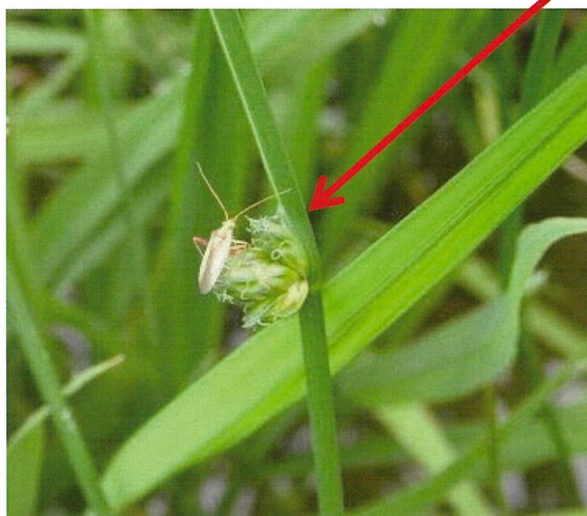
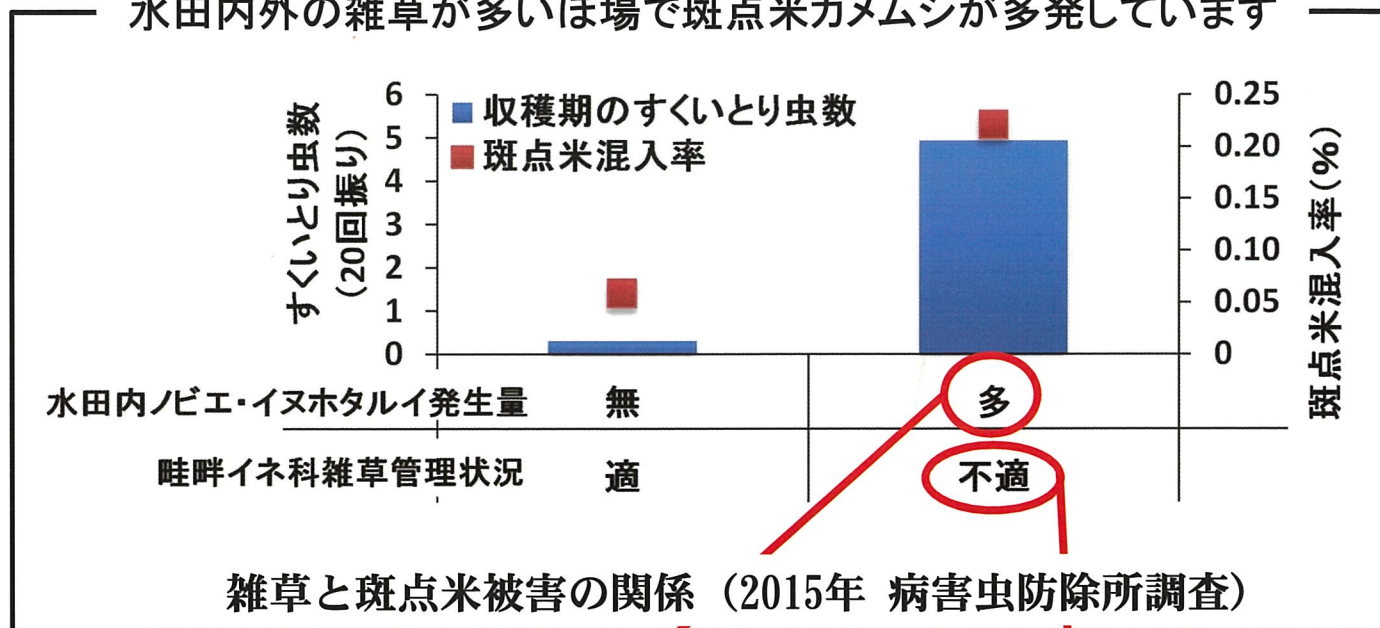


斑点米被害防止のため 水田内外の除草と適期薬剤散布の徹底を

水田内外の雑草が多いほ場で斑点米カメムシが多発しています



▲イヌホタルイに寄生するアカスジカスミカメ



▲草刈りをしていない畦畔(8月下旬)

斑点米被害防止のため次の点を徹底しましょう

- 水田内のノビエとイヌホタルイの防除
- 出穂期10日後頃の薬剤散布とその後7日以内に畦畔の草刈り
- 雑草発生田は出穂期24日後頃に2回目の薬剤散布

高品質米生産のための雑草防除

初期剤

と

一発処理除草剤

田植え同時又は
田植え直後

初期剤散布10日後
(ノビエ 2 葉期) を目安に

を

組み合わせて適期に散布



ノビエ 2.0葉期



ホタルイ 2.0葉期



コナギ

次の点を徹底しましょう

- 初期剤の田植え同時又は田植え直後散布の際は、水尻を閉めて当日中に3～5cmの湛水を行う
- 急激又は頻繁な差し水は水口付近の処理層を破壊し残草につながるため、差し水はできるだけ静かに行う
- 除草剤散布後7日間は、落水や掛け流しをしない